

# 夏・秋のクマに

## 出沒頻繁 要注意!!

圃 農林課 林務係

令和5年4月以降、県内におけるツキノワグマの目撃、人身被害件数がともに前年を上回っていることから、長野県森林づくり推進課鳥獣対策室は、7月からツキノワグマとの遭遇を防ぐため注意を呼び掛けています。

佐久地域でも目撃件数等が増えており小諸市内にあっては、7月末までに7件の目撃と5件の農業被害が報告されています。夏から秋にかけて身近な場所でツキノワグマの出没が想定されます。クマが暮らす自然環境が身近にあります。クマの生態に関心をお持ちいただき、遭遇・人身被害等を未然に防げるよう皆さまのご理解とご協力をお願いします。

## 知っておきたい！ 「夏・秋のクマ」 の特徴



### ▶山の食べ物が少なくなる

特に夏の終わりごろは1年のうちで最も食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し生ごみをあさったり、農作物に被害を出すことがあります。

### ▶ツキノワグマの交尾期にあたる

6～8月は交尾期となり、オスとメスが共に過ごすことが多くなります。また1～2歳の子グマが母グマと別れて暮らし始めます。

### ▶若い個体が標高の低い地域で活動する

山を登り標高の高い地域で生活するクマ（主に成獣のオス）がいる一方、若い個体は、山を登るクマを避けて、標高の低い地域で行動することが多くなります。

### 鈴、ラジオ、笛などを携帯する

登山やキャンプ、農作業に当たっては、音が出る物を鳴らしながら行動しましょう。



### 林内・溪流沿いでは周囲を確認

川の音などでクマも人も互いの存在に気が付きにくいことがあります。周囲を確認しながら注意して移動してください。



### クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地です。事前にクマの目撃情報などを確認し、林内等でクマの足跡や糞などを見つけたらそれ以上近づかず引き返しましょう。また、クマの行動範囲は広範に及びることがあります。近隣自治体での目撃情報なども日ごろから確認するようにしましょう。



## 今日からできる対策6選

### 朝夕の行動は複数人で

朝夕にクマが出没しやすい場所での行動や山中に入ることは避けましょう。農作業等で出掛ける場合は、複数人で行動しましょう。



### 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。人と遭遇した場合、子グマを守るため人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのまま静かに立ち去りましょう。

### 里地に寄せ付けない

クマが好むトウモロコシや果樹などを栽培している畑の周囲は、電気柵の設置や藪草の刈払いをし、防除対策を取り、クマを寄せ付けない対策を取りましょう。また、生ごみもクマのエサとなります。一度、餌付いてしまうとその場所に執着し、たびたび出没するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身被害の可能性が高まります。

※ツキノワグマを目撃したら、静かにその場を離れ、安全を確認でき次第、小諸市役所までご連絡ください。